

姫路市水道ビジョン 施策目標に係る指標値（令和2年度実績）

(1) 強靱：災害に強く安定した「強靱」な水道

①施設・管路の計画的更新と耐震化

指標	意味	H30	R1	R2	中核市平均 (R1)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2~R6	後期 R7~R11		
管路老朽化率 (老朽管延長)	管路老朽化の状況	24.0% (710,904m)	25.1% (746,088m)	27.0% (805,027m)	22.0%	33.2%	39.8%	45.5% (R16)	法定耐用年数を経過した管路 延長÷管路総延長
管路更新率	管路の老朽化対策	0.55%	0.64%	0.58%	0.74%	0.80%	0.88%	1.00% (R16)	管路更新延長÷管路総延長
浄水施設耐震化率	浄水施設耐震化状況	11.6%	11.6%	11.6%	37.0%	11.6%	54.8%	81.0% (R51)	耐震化能力÷全施設能力
配水池耐震化率	配水池耐震化状況	37.5%	37.5%	43.6%	61.3%	53.5%	58.1%	84.5% (R51)	耐震化容量÷全施設容量
基幹管路耐震適合率	管路の耐震化状況	29.4%	30.0%	31.1%	49.9%	36.2%	42.5%	100% (R51)	耐震適合性基幹管路延長÷基 幹管路総延長
全管路耐震適合率	管路の耐震化状況	42.1%	42.6%	43.1%	—	47.4%	52.3%	94.2% (R51)	耐震適合性基幹管路延長÷基 幹管路総延長

②災害対策の推進

指標	意味	H30	R1	R2	中核市平均 (R1)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2~R6	後期 R7~R11		
緊急遮断弁による 貯留量	危機管理対策	31,000 m ³	31,000 m ³	31,000 m ³	—	45,000 m ³	46,000 m ³	47,000m ³ (R16)	
応急給水量の確保	危機管理対策	5日分	5日分	5日分	—	6日分	6日分	7日分 (R16)	日/全市民
応急給水施設密度	危機管理対策	1.4箇所 /100km ²	1.4箇所 /100km ²	1.4箇所 /100km ²	—	1.9箇所 /100km ²	2.5箇所 /100km ²	2.5箇所 /100km ² (R16)	応急給水施設数÷(現在給水 面積÷100)

(2) 安全：いつでも「安全」で良質な水道

①給水装置における水質保持

指標	意味	H30	R1	R2	中核市平均 (R1)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2~R6	後期 R7~R11		
鉛製給水管率	水質の保持	5.0%	4.6%	4.3%	—	3.2%	1.8%	0% (R15)	鉛製給水管使用件数÷給水栓 数

(3) 持続：将来にわたって「持続」可能な水道

① 経営基盤の強化

指標	意味	H30	R1	R2	中核市平均 (R1)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2~R6	後期 R7~R11		
経常収支比率	経営の健全性	109.0%	106.4%	116.4%	107.0%	111.8%	107.0%	100.0% (R51)	経常利益÷経常費用 ※長期前受金戻入を除く。
資金残高対事業収益比率	資金の余力度	57.7%	60.9%	66.3%	90.0%	56.3%	27.4%	44.2% (R51)	現金・預金残高等の額 ÷経常利益
企業債元利償還金対料金収入比率	債務の重さ	16.0%	16.1%	17.2%	25.8%	14.7%	15.0%	8.8% (R51)	企業債元利償還金÷料金収入
経費回収率	経営の効率性	100.0%	98.3%	97.2%	100.0%	104.2%	100.2%	100.0% (R51)	供給単価÷給水原価
経常利益対営業収益率	収益性	8.3%	6.1%	15.6%	6.2%	10.5%	6.6%	7.2% (R51)	経常損益÷営業収益 ※長期前受金戻入を除く。

② 組織体制の適正化

指標	意味	H30	R1	R2	中核市平均 (R1)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2~R6	後期 R7~R11		
職員数 (うち技術職員数)	定員の適正化	128人 【37人】	127人 【40人】	126人 【39人】	118人	120人 【37人】	118人 【35人】	101人 【33人】 (R30)	※会計年度任用職員は除く
職員一人当たりの 有収水量	定員の適正化	524,152 m ³ /人	524,264 m ³ /人	526,515 m ³ /人	432,123 m ³ /人	437,995 m ³ /人	425,163 m ³ /人	400,084 (R30) m ³ /人	有収水量÷損益勘定職員数 (会計年度任用職員は除く)

③ 環境負荷の低減

指標	意味	H30	R1	R2	中核市平均 (R1)	ビジョン計画値		目標 (年度)	算式
						前期 R2~R6	後期 R7~R11		
浄水発生土再生利用率	資源の有効活用	38.7%	42.9%	46.0%	—	70.0%	80.0%	80.0% (R11)	再生利用土量÷浄水発生土量